

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2000-74528 (P2000-74528A)
 【公開日】平成 12 年 3 月 14 日 (2000.3.14)
 【出願番号】特願 平 10-247945
 【国際特許分類第 7 版】

F 2 5 B 39/04

F 2 5 B 43/00

【F I】

F 2 5 B 39/04 Y

F 2 5 B 39/04 S

F 2 5 B 43/00 U

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 7 月 21 日 (2005.7.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

垂直方向に沿う一対のヘッダー間に、両端を両ヘッダーに連通接続する複数の熱交換管路が並列状に配置されたコアを有し、そのコアの上位に凝縮部が設けられるとともに、下位にサブクール部が設けられた熱交換器と、

パイプ状のタンク本体と、そのタンク本体の一端側及び他端側開口部に閉塞状に固定される一端側及び他端側ジョイントブロックとを有するレシーバータンクとを備え、

前記一端側ジョイントブロックが一方側ヘッダーの凝縮部冷媒出口に対応する位置に固定されるとともに、他端側ジョイントブロックが一方側ヘッダーのサブクール部冷媒入口に対応する位置に固定され、前記凝縮部冷媒出口から流出した冷媒が、前記一端側ジョイントブロックに設けられた冷媒流入路を通してタンク本体内に導かれるとともに、タンク本体内の冷媒が、前記他端側ジョイントブロックに設けられた冷媒流出路を通して、前記サブクール部冷媒入口に導かれるよう構成されてなり、

上記両ジョイントブロックのうち少なくともいずれか一方に、前記タンク本体の内部に通じ、かつ、乾燥剤、フィルター等のタンク内装品を挿通し得る大きさのタンク内装品収容作業用貫通孔が設けられるとともに、その貫通孔に閉塞部材が着脱自在に取り付けられてなることを特徴とするサブクールシステムコンデンサ。

【請求項 2】

前記タンク内装品収容作業用貫通孔が、前記両ジョイントブロックのうち下側に配置されるジョイントブロックに前記タンク本体の軸方向に沿って設けられるとともに、

前記冷媒流出路が、前記下側のジョイントブロックに前記タンク内装品収容作業用貫通孔に連通する態様に設けられ、

前記閉塞部材の内面に、前記タンク本体の軸方向に沿って上方に延びるフィルター位置保持突起が設けられ、

前記フィルター位置保持突起により、前記タンク本体内に収容されたフィルターが持ち上げ状態に支持されて、前記フィルターの下端が前記冷媒流出路よりも上位に配置されるときともに、前記タンク内装品収容作業用貫通孔の内部における前記フィルターと前記閉塞部材との間に、前記フィルターを通過した冷媒を前記冷媒流出路に導くための冷媒流通路

が設けられてなる請求項 1 記載のサブクールシステムコンデンサ。

【請求項 3】

垂直方向に沿う一対のヘッダー間に、両端を両ヘッダーに連通接続する複数の熱交換管路が並列状に配置されたコアを有し、そのコアの上位に凝縮部が設けられるとともに、下位にサブクール部が設けられた熱交換器と、

パイプ状のタンク本体を有するレシーバタンクとを備え、

前記凝縮部から流出した冷媒が、前記レシーバタンクのタンク本体内に導かれるとともに、タンク本体内の冷媒が前記サブクール部に導かれるよう構成されてなり、

前記レシーバタンクに、前記タンク本体の内部に通じ、かつ、乾燥剤、フィルター等のタンク内装品を挿通し得る大きさのタンク内装品収容作業用貫通孔が設けられるとともに、その貫通孔に閉塞部材が着脱自在に取り付けられてなることを特徴とするサブクールシステムコンデンサ。

【請求項 4】

前記タンク本体内の冷媒を前記サブクール部に導くための冷媒流出路が、前記レシーバタンクに前記タンク内装品収容作業用貫通孔に連通する態様に設けられ、

前記タンク内装品収容作業用貫通孔の内部におけるフィルターと前記閉塞部材との間に、前記フィルターを通過した冷媒を前記冷媒流出路に導くための冷媒流通路が設けられてなる請求項 3 記載のサブクールシステムコンデンサ。

【請求項 5】

垂直方向に沿う一対のヘッダー間に、両端を両ヘッダーに連通接続する複数の熱交換管路が並列状に配置されたコアを有し、そのコアの上位に凝縮部が設けられるとともに、下位にサブクール部が設けられた熱交換器と、

パイプ状のタンク本体と、そのタンク本体の端部開口部に閉塞状に固定されるジョイントブロックとを有するレシーバタンクとを備え、

前記ジョイントブロックが一方側ヘッダーのサブクール部冷媒入口に対応する位置に固定され、前記凝縮部冷媒出口から流出した冷媒が、前記タンク本体内に導かれるとともに、タンク本体内の冷媒が、前記ジョイントブロックに設けられた冷媒流出路を通して、前記サブクール部冷媒入口に導かれるよう構成されてなり、

前記ジョイントブロックに、前記タンク本体の内部に通じ、かつ、乾燥剤、フィルター等のタンク内装品を挿通し得る大きさのタンク内装品収容作業用貫通孔が設けられるとともに、その貫通孔に閉塞部材が着脱自在に取り付けられてなることを特徴とするサブクールシステムコンデンサ。

【請求項 6】

前記冷媒流出路が、前記ジョイントブロックに前記タンク内装品収容作業用貫通孔に連通する態様に設けられ、

前記タンク内装品収容作業用貫通孔の内部におけるフィルターと前記閉塞部材との間に、前記フィルターを通過した冷媒を前記冷媒流出路に導くための冷媒流通路が設けられてなる請求項 5 記載のサブクールシステムコンデンサ。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載のサブクールシステムコンデンサを備えたことを特徴とするカークーラー。